

IoT家電を活用したフェーズフリー防災

防災情報研究部門 取出新吾

防災対策の課題

- 家庭の防災対策の自己評価は100点満点中36.8点※1
- 企業のBCP策定率は17.6%※2
- 家庭でも企業でも防災対策は十分に行われていないのが現実

求められる防災対策とは

- 誰でも簡単にできる、頑張らないもの
- 日頃から使えて、災害時にも活躍するフェーズフリーなもの

シャープとの取り組み

空気清浄機、エアコンなどの生活家電はリビング、寝室などに設置され、常に電源に接続されており、日常生活になくてはならないものとなっています。IoT化された生活家電を2つの目的で利用することを検討しています。

1. IoT家電をセンサーとした停電や通信断などの情報収集、安否確認
2. 発話機能を利用し、警報・避難等の防災情報の発信

AIoT家電のインフラとしての活用



今後の展望・方向性

CEATEC2022参考出展

- つくば市の実証実験
- リアルタイムな情報収集・発信のための手法開発の検討
- 生活家電の今後の開発方針の検討
- 様々なメーカーが参入可能なマルチベンダープラットフォームの検討

※1 住友生命保険相互会社 スミセイ「わが家の防災」アンケート 2022

※2 帝国データバンク 特別企画：事業継続計画（BCP）に対する企業の意識調査（2021年）

※3 NHK公開音声ファイル：NHK命を守る“防災の呼びかけ”

